

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 兵 庫

実施担当会員社名	(有)日本農園芸	
実施校名	<u>神戸市立高丸 小学校</u> <u>3年生</u> <u>2クラス</u> <u>合計 50名</u>	
実施期間	平成21年 5月～10月	
栽培品目 (品種)	ミニトマト (春) ラディッシュ (秋)	
提携協力先		
実施概要	時 期	内 容
	5/上	ミニトマト定植
	9/中	ラディッシュ定植
学校からの評価	今まで野菜嫌いな子供が食べる様になり、有意義な楽しい野外活動が出来ました。	
児童からの声	物を育てる喜びがあり今度それを調理して食べるのは最高に楽しい。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・育てる過程でいろいろな事が勉強出来て楽しくなる。 ・日本種苗協会は作る物のアドバイス等もう少し詳細な資料を出して欲しい。 ・出来た物を子供はどんどん食べていくと同時に学習意欲も充分にあるので、毎年行って欲しい。 	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 兵庫県

実施担当会員社名	(株) 水田種苗園	
実施校名	<u> </u> 岩岡 <u> </u> 小学校 <u> </u> 4年生 <u> </u> 全クラス <u> </u> 合計 200 名	
実施期間	5月～8月	
栽培品目 (品種)	トマト類、なす類、オクラ、枝豆、とうもろこし	
提携協力先	地元農家 (トラクタ)	
実施概要	時 期	内 容
	5/上 7/中	播種、定植、植え付け講習。 草取り実習と、野菜の食べ方、及び機能性の話の講演。 皆で実食、生食用の野菜は、随時、収穫し、当番制で持ち帰る。 鳥害から自分達の作物を守るために、子供達が自主的にかかしを作成、設置。
学校からの評価	子供達が野菜に興味を持った。 このまま続けて欲しい。	
児童からの声	野菜のいろいろなことを知ることができて楽しかった。 自分で作った野菜を食べるのが面白かった。大きな変わったスイカがとれた。 キュウリがあんなに大きくなってびっくりした。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	種苗業界の繁忙期と、学期始めとが重なるため、スケジュールの調整が難しく、すいか等、適期が遅れることがあるのが大きな課題。また、夏野菜は生食のものが多く、原則学校での飲食は加熱調理なので、持ち帰ることが多かったため、食育の最後の仕上げである「食べる」が家庭任せとなる。次の機会には、栄養士の先生の協力を仰ぎ、トマトなど一般には生食用として捉えられている野菜の加熱調理の方法を紹介し、実食することで、子供に「保護者に食べ方の紹介ができる」「家族に自分が料理したものを食べてもらう」というアプローチも可能になると思われる。	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 兵庫県

実施担当会員社名	(株) 水田種苗園	
実施校名	<u> </u> 岩岡 <u> </u> 小学校 <u> </u> 4年生 <u> </u> 全クラス <u> </u> 合計 <u> </u> 200名	
実施期間	8月～12月	
栽培品目(品種)	<u> </u> じゃがいも、 <u> </u> キャベツ、 <u> </u> カブ、 <u> </u> 大根	
提携協力先	<u> </u> 青年団	
実施概要	時 期	内 容
	9/上 12/中	定植・講演・間引きして持ち帰り家庭で実食 収穫・実食(カレー)
学校からの評価	子供達が、野菜作りに興味を持った。 インフルエンザ騒ぎで余裕が無かったので、もう少しじっくりと取り組みたい。	
児童からの声	<u> </u> じゃがいもが美味しかった。 お母さんに大きなカブを見せることができた。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	<u> </u> 二回目ということで、新鮮さがなくなるかと危惧されたが、経験することにより、より興味が強くなり、除草や虫の駆除にと、春より積極的に農作業にとりくむようになった。 <u> </u> じゃがいもは理科の実習でもおなじみだが、それだからこそ、秋にじゃがいもを植え、短期間で収穫できるというのは驚きだったらしい。全体的に、春と違って、秋は時間がかかる作物が多いので、収穫の喜びもひとしおだったようだ。学校での実食はいろいろな、規則などがあり、難しいので食育へのひとつのアプローチ手段として、冬場野菜が少ないときに確保するため、先人達が「保存野菜」を考え出したことを学ぶ実習授業を今後、学校と協力して行いたい。	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 兵庫県

実施担当会員社名	森田 潤一郎	
実施校名	<u> </u> 加古川 <u> </u> 小学校 <u> </u> 1~6年生 <u> </u> クラス 合計 <u> </u> 名	
実施期間	5月～9月	
栽培品目（品種）	春野菜苗（ミニトマト・キュウリ・ピーマン・ナス・南瓜・オクラ・イモ）	
提携協力先	（例）JA〇〇、NPO 法人〇〇 小林種苗（株）	
実施概要	時 期	内 容
	（例）4/上 5月	（例）定植実習 定植前講習 定植実習
学校からの評価	ご支援頂くことで、子供たちの心によるこびをはじめとする豊かな感性を育てる体験ができます。また、「食」に対して、生産活動を通す事で感謝の気持ちを持つこともできます。	
児童からの声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家さんの苦労がわかった。 ・ 食べ物を大切にしようと思った。 	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	食育推進プロジェクトにより食物に対して、感謝の気持ちが生まれ、食べ物を大切に作る心が生まるので、大変意義のある事だと感じました。	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 _____ 兵庫県 _____

実施担当会員社名	森田 潤一郎	
実施校名	_____ 加古川 _____ 小学校 1/2/5/6 年生 _____ 21 クラス 合計 580 名	
実施期間	9 月～ 1 2 月	
栽培品目（品種）	大根・蕪	
提携協力先	（例）JA〇〇、NPO 法人〇〇 小林種苗㈱	
実施概要	時 期	内 容
	（例）4/上 9 月	（例）定植実習 定植実習
学校からの評価	このプロジェクトが本校児童にとって大変有意義なものであり、 今後の継続を期待します。	
児童からの声	大きくなるのが楽しかった。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	継続していくことで、より意義の深いものになっていくと思います。	